

科目名 関係法規 時間割表記名 関係法規	配当時期 3年次 前期 単位数 1単位 時間数 15時間(8回)	講義担当者 佐伯 文啓 三角紳博 石井美香子	
事前学習内容 テキストを用いて予習をした上で授業に参加する。			
授業目標 1. 法律の基礎知識を学び、専門職業人としての看護師の責任と義務について理解できる。 2. 看護実践に関係する法律の概要について理解できる。			
DPとの関連 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 法の概念 1) 法の概念 2) 衛生法 3) 厚生労働行政のしくみ	講義	テキスト①第1章
2 3	2. 看護に関する法律 1) 保健師助産師看護師法制定の経緯 2) 保健師助産師看護師法 3) 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義 グループワーク	テキスト①③
4	3. 医事法 1) 医療法 (1) 医療法の目的、医療提供の理念等 (2) 医療提供施設(病院、診療所、助産所、介護医療院、介護老人保健施設等)の定義 (3) 医療に関する選択の支援などに関する事項 (4) 医療安全の確保 (5) 病院等の管理、人員、構造設備 (6) 診療に関する諸記録 (7) 病院等の監督	講義	テキスト①第3章
5	2) 医療や社会福祉の関連職に関する法 (1) 医師法 (2) 歯科医師法 (3) 薬剤師法 (4) その他の医療関係資格法 (5) 保健衛生福祉資格法 3) 移植医療に関する法	講義	テキスト①第3章

	4)人の死に関する法 5)緊急時の看護・医療に関する法		
6	4. 薬務法 1)薬事一般に関する法 (1)医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 (2)安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (3)薬害被害者の救済等 2)麻薬・毒物などに関する法律・規制 (1)麻薬及び向精神薬取締法 (2)大麻取締法 (3)あへん法 (4)覚醒剤取締法 (5)毒物及び劇物取締法	講義	テキスト①第5章 テキスト②
7	5. 労働法と社会基盤整備 1)労働法 2)社会基盤整備など	講義	テキスト①第8章
8	筆記試験(45分)	講義・筆記試験	テキスト①
受講上の注意 事前学習を行い授業に臨むこと。			評価方法 筆記試験
<p>使用するテキスト</p> <p>① 健康支援と社会保障制度[4]看護関係法令 医学書院</p> <p>② 疾病の成り立ちと回復の促進[3]薬理学 医学書院</p> <p>③ 看護六法(令和6年度版) 新日本法規</p> <p>参考文献</p> <p>① 系統看護学講座 別巻 総合医療論 医学書院</p> <p>その他: 授業の中で適宜紹介</p>			